

徳島市不動小学校



1 学校の概要

- ①児童数 111名
- ②学校教育目標・めざす子ども像

○学校教育目標

心身ともに健全で、思いやりの心を持ち、たくましく生きる力を身につけた不動の子どもを育てる。

○めざす子ども像「かしこく・やさしく・たくましく」

- ・自ら学び自ら考える子
- ・友達と協力し他人を思いやる子
- ・鋭い人権感覚を持った子
- ・豊かな心と強い身体を持つ子
- ・ねばり強くやりぬく子
- ・自分や地域に誇りを持つ子

③環境目標・テーマ

ふるさと不動町の自然を守りために、地球にやさしい学校にしよう
「給食をしっかりと食べて エコ活動 地域の自然を守る不動小」

2 行動方針

- ①節電・節水に努めます。
- ②学校におけるごみの分別に努めます。
- ③資源ゴミ回収をし、資源のリサイクルに努めます。
- ④環境に関する催しや活動に参加します。
- ⑤残滓を減らして、ゴミの減量、環境保全に努めます。

3 行動

- ①節電・節水に関する実践例
【責任者名付き節電シール】



【節水ありがとうシール】



- ②ごみの分別に関する実践例
【ペットボトルキャップ・プルタブの回収】



節電・節水に関するシールやよびかけの標語は、掲示物は、体育・環境委員会が制作した

③資源リサイクルに関する実践例

【地域の資源ゴミ回収】



【紙の再利用】



④環境に関する催しや活動

【食品トレイの回収活動】



【公園除草・鮎喰川堤防除草】



⑤給食残滓量の減量実践例

【食育セミナー】



【食育に関する授業】



4 具体的効果

- ◆ 体育・環境委員会を主体に、自分たちの身近にあるごみや環境の問題に関わる掲示をしたり、除草作業などに参加したりすることで、環境に対して自分たちのできるところから課題解決しようとする一人ひとりの意識付けができた。
- ◆ 食育セミナーや食育に関する授業を受けたことで、食の大切さに気付く児童が増えた。「食事で野菜をよく食べる」と答えた児童は昨年度47%から今年度68%に増えている。その結果が残滓減量の取り組みにも効果を見せた。
- ◆ 継続的な地域の環境保護に関わる体験活動の計画や、児童主体の呼びかけ・評価を行うことで、児童の円滑な参加や地域への帰属意識を高めることができた。また、地域行事に参加することで環境美化だけでなく、あいさつや生活習慣に結びついている。

5 改善点

- ◆ 出前授業を活用するなど、各学年で発達段階に応じた環境教育に取り組み、自発的に環境活動に取り組む児童を育てたい。
- ◆ 学校で学んだことを家庭や地域に広げ、さらに連携した取り組みができるよう、地域行事やHPなどを生かし、啓発活動を進めていきたい。